

TAP7の学生たちが世界の課題を議論



International Science Forum
DAY 2

▲フォーラムではオンラインでつながった世界の学生たちとともに、研究結果について発表し、熱心に議論が行われた。

3月23日、彦根東国際サイエンスフォーラムは2日目を迎えた。2日目は各分科会に別れて活動を行った。

分科会は、エネルギー問題・自然災害・水環境問題・住環境問題・世界遺産・プラスチック問題の6つの分野に分けられて開催された。

またアイスブレイカーや、融合授業・書道体験・絵手紙体験などのバディ授業といった連携校間の交流も行われた。

フォーラム2日目はアイスブレイカーから始まった。このイベントには連携校の生徒と本校の1-1の生徒が参加した。アイスブレイカーで交流後、バディ授業として教科融合授業や書道の体験授業などのプログラムが行われた。連携校の生徒は初めての書道体験に目を輝かせていた。分科会では6つの分科会に分かれ、各議題について議論を行った。最後に閉会式が行われ、次回開催校であるTSRSから



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号



▶書道体験の様子

意気込みが語られた。フォーラムに参加したGIIS生のSeon SongGudinyanは「今日は素晴らしい時間を過ごすことができ、書道など興味深い技術や文化を学ぶことができた。また彦根東国際サイエンスフォーラムを通して多くの仲間を得ることもできた。この機会に感謝し、またここに訪れたいと思う」と微笑まれた。

▼協力して振り子実験を行う生徒たち



2日目(3月23日)

9:15	アイスブレイカー
10:00	バディ授業
12:00	昼食
13:10	分科会
15:00	休憩
15:40	各分科会より報告
16:05	閉会式



▲閉会式では本校からフォーラムに参加した学生たち(上)とオンラインで参加した学生たち(右)が共に2日間のフォーラムを終えて微笑み合った。

